

【自主】自ら進んで学ぶ生徒【寛容】明朗で思いやりのある生徒【挑戦】健康でたくましい生徒
～夢の実現～〈重点目標〉互いに励まし合い、目標に向かってチャレンジする生徒

平成28年7月15日(金)第7号

発行責任者：校長 熊澤 正人

TEL 22-3802

原町三中だより



まもなく一学期が終了 一人一人が持てる力を発揮！

平成28年度原町第三中学校PTA学級懇談会に寄せて

校長あいさつ

保護者の皆様、本日はお忙しい中、授業参観と引き続き学年懇談会においでいただきありがとうございます。

まもなく一学期が終了しますが、本校では教育目標を、

- ◎ 進んで学ぶ生徒（自主）
- ◎ 明朗で思いやりのある生徒（寛容）
- ◎ 健康でたくましい生徒（挑戦）

としており、その実現のため今年度の重点目標として「互いに励まし合い、目標に向かってチャレンジする生徒」を目指す姿として取り組んできました。

一学期は何といても部活動

一学期は何といても部活動です。3年生を中心に、生徒それぞれが所属する部活動で持てる力を発揮しました。

その結果、相双地区大会では数多くの優勝、入賞者を出しました。県大会はすでに特設陸上部が終了、男女バドミントン部、ソフトテニス部、柔道部がこれから出場します。

特に地区大会ではバドミントン部の個人団体での男女完全優勝、陸上の県大会では走り高跳びで本校生徒が優勝し東北大会の出場権を得たことは、全校生にとって大きな励みとなりました。



【中体連相双地区大会の表彰状伝達式の様子】

また、文芸部、吹奏楽部は野球部の試合に雨の中、最後まで声を限りに応援し、互いに励まし合う姿が心に残っています。

入賞に至らなかった生徒も、自分の力を出し切るために、仲間と励まし合い、目標に向かってチャレンジすることをとおして、支えていただいた保護者、地域の方々への感謝、小さいことを重ねていくことの重要性を感じ取ってくれたものと思っています。

学習面での取組

（確かな学力を身につけさせる）

学習面での取組状況をお伝えします。授業については「授業の約束3ヶ条」「学び合う授業づくり10ヶ条」を掲げ、クラス全員が学びに参加する授業の展開に取り組みました。校内の調査では、

- ◆自分の考えを発表する機会がある 96.3%
 - ◆話し合う活動を行っている 92.6%
 - ◆発表するときうまく伝わるように工夫している 66.7%
 - ◆考えを書くとき、理由がわかるように書く 63.0%
- という結果ができました。生徒一人一人が授業に主体的に参加する授業づくりはほぼできていますが、三人に一人が考えをうまく伝えたり、理由をわかりやすく書いたりすることに苦手意識を持つことがわかりました。さらに「考えてわかりやすく書く」授業を追求していきます。他にも定期テスト前に全教員で生徒の質問を受け付ける「質問タイム」、基礎的な内容の定着を図る「パワーアップテスト」などの取組をとおり、個別指導の強化を図ってきています。

これまでのご協力に感謝

保護者の皆様のご協力に感謝申し上げますとともに、二学期には生徒のチャレンジする姿が、さらに充実するよう教職員一同力を合わせていくことをお伝えしましてご挨拶とさせていただきます。